

● ビジョン委員会 ●

神戸地域ビジョン委員会（全体会）

と き 平成22年12月23日（木・祝）

と ころ 兵庫県民会館 10階「福」

参加人数 46人

開催趣旨

神戸地域ビジョン（改訂版）素案について協議し、その結果等を踏まえ、素案の取りまとめを行う。

テーマ

- ・報告：大西 稔 神戸県民局交流・連携参事
- ・分野別協議：「安心・安全な暮らしづくり／次代の人づくり」「循環型の社会づくり」「グローバルな魅力づくり／地域経済の活力づくり」の3つの分野に分かれて、ビジョン素案の内容等を協議
- ・全体協議（グループ発表／意見交換等）
 - ※ 分野別協議・全体協議コーディネーター：野崎 隆一 NPO 法人神戸まちづくり研究所事務局長（ビジョン委員会副委員長）

会議の概要

グループに分かれ、ビジョン素案が示す夢提案の内容や、夢提案の実現に向けた取組等を話し合い、その結果を報告。

〈結果報告〉

○ 「安心・安全な暮らしづくり／次代の人づくり」分野

- ・地域でコミュニケーションづくりを進めていくことが大切
- ・地域組織に新しい力（新陳代謝）を入れていくことが必要
- ・NPO 等と地域組織のつながりを築いていくことが求められる
- ・団塊世代の人々を地域の中へと入りやすくしていくことが必要
- ・まちづくりのためには、住民が地域活動に参画するためのきっかけをつくること（地域で活動するために住民が気軽に入れる場づくり）が必要
- ・愛を持って人づくりに取り組むことが大切
- ・子育てを支援するには、家族の絆をしっかりと創っていくことが大切
- ・子ども達が自主的に活動できるグループをつくることが求められる

○ 「循環型の社会づくり」分野

- ・都市部と農村部の交流をもっと進めることが必要
- ・農漁・漁業だけでなく、畜産業も含め、その活性化に取り組むことが必要
- ・農家と消費者が地域で相互に補い合う（農家が消費者に地域でとれた安全な作物を届け、消費者が地域でとれた作物を購入する）関係づくりが必要

- ・保育園・幼稚園（児）から大学（学生）まで、農業体験を授業として取り入れることが必要
- ・地域の安全・安心な食べ物を食べてもらえるよう、食農教育に子どもの頃からもっと取り組むことが求められる
- ・農業の担い手として、若者やシルバー人材センターの会員、失業者の活用等を考えることが必要
- ・自分達でコンポストをつくるなど、家庭での生ごみ解消に取り組むことが大切
- ・農業や環境問題に対して自身が行動するには、現場を知る（体験する）ことが大切
- ・農業等への対応にあたっては、企業や行政にも呼びかけていく、また、支援してもらうことが必要
- ・子ども達に自然や農業の大切さを分かってもらうことが必要
- ・六甲山の自然を保全するために、様々なイベントを行うことが必要
- ・ビジョン委員会の中でも、循環型の地域づくりをめざし、もっと取組を進めることが必要
- ・六甲山の自然を守るため、子ども達に山登りをもっとさせる、また、六甲山の情報をもっとPR することが必要
- ・ビジョン委員会の中でも、取組をフォローする、グループ同士で連携することが必要



○ 「グローバルな魅力づくり／地域経済の活力づくり」分野

- ・地域プロジェクト等の情報収集に住民も努めることが必要
- ・行政は住民に、地域プロジェクト（空港・医療産業都市等）をもっとPR（広報）することが必要
- ・外国人にも日本の農業を担ってもらえるようにする（外国人（研修生）は、日本の技術を吸収し、農家は農地の有効活用と農業技術の維持が可能になる）
- ・留学生のために、ワンストップ相談の仕組みをつくる必要がある
- ・留学生が仲間を増やせる交流の場づくりが必要

各グループからの意見等を踏まえ、専門委員の方々からコメントをいただいた。

〈コメントの内容〉

- ・地域組織のあり方等について、見つめ直すことが大切（若い人たちを巻き込んで地域組織の大切さを伝えることが必要）（地域活動に気軽に参加できる場づくりを進めていかないと若者は参加してこない）（地域での課題を自身の問題と気づいてもらえるきっかけづくりが大切）
- ・「循環型社会（低炭素社会）」というキーワードに関し、住民レベルで何が出来るかを考えていくことが大切
- ・人口減少社会のなかで、子どもの教育をどう捉えていくのか、具体的に考えていくことが必要
- ・夢提案をつないで考えることにより、相乗効果や新しい視点も出てくる

- ビジョン委員会自身も、グループ間の連携や、活動がどういう意義を持っているのかについて、見えるようにする必要がある（ビジョンの点検・見直しとともに、ビジョン委員会のあり方についても少し考えていくことが必要）



会議をふりかえって

地域ビジョン素案の内容等について、参加者の方々が積極的に意見・提案を述べ合うなど、ビジョン委員会として、よりよい地域をみんなで創っていかうとする強い気持ちを感じられました。

こうした気運をより広げ・伝えていくために、点検・見直しを進めている地域ビジョン（改訂版）を策定し、地域のみんなで協力・連携しながら、その推進に取り組みればと考えます。